

まちのひろば

人と人をつなぐ大屋根
屋根が人をつなぐ、地域をつなぐ、
利用者にとって町に関わるいろいろな人の活動が見える場。
人のつながりこそが町の価値を高め、町はにぎわいと活気をとりもどす。



町の住民、観光で訪れた人、地元で働く人、館山にむかう途中の人、すべての人が気軽に立ち寄れる大屋根空間を提案する。地域コミュニティを支えてきた小学校は、公園のように開かれた施設 = 世代を超えた人々が交流する施設として生まれ変わる。芝生であそぶ子供たち、カフェで談話する主婦たち、館山への登山準備をする人たち、広場を散歩するお年寄りたち、大規模フリーマーケットで買物をする若者たち、そういう様々な風景が重なりあう景色が、これからの地域社会のモデルとしてふさわしいと考える。町の中心となる場 (= 本施設) が地域に愛されることこそが町の価値を高め、町に活気をもたらすものと確信している。



コミュニティ・カフェより屋根広場をみる



利便性の良い敷地

